

日本の復活と永遠の繁栄を祈りつつ

令和を奉祝するヴィオラ協奏曲と運命との苦闘が勝利の凱歌へと
 発展するチャイコフスキーの第5シンフォニーをお聴きいただきます

NIPPON SYMPHONY CONCERT Vol.30

～ REIWA SPECIAL ～



指揮
新田 孝
 (岡山市出身)



ヴィオラ
中 恵菜



ピアノ
秋川 風雅



ピアノ
森岡 薫



監 修: 中野 雄
 音楽監督: 新田 孝

オーケストラ
NIPPON SYMPHONY

令和6年 **3月18日**(月)

18:30開演 (17:30 ロビー開場)

**東京芸術劇場
 コンサートホール**



JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線
 池袋駅西口より徒歩2分 [駅地下通路2b出口]

チケット

S席(指定) ¥8,000 A席(指定) ¥7,000

*先行予約(限定200枚/S席A席共¥2,000引)

*CD(1セット2枚組)プレゼント付き

<BEST OF NIPPON SYMPHONY>(入場時お渡し)

《プログラム》

バッハ: ピアノ協奏曲 第7番 (ピアノ: 森岡 薫)

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 (ピアノ: 秋川 風雅)

浅岡弘和: 令和協奏曲 (ヴィオラ協奏曲)〈初演〉 (ヴィオラ: 中 恵菜)

チャイコフスキー: 交響曲 第5番「運命への愛」(指揮: 新田 孝)

主催: NIPPON SYMPHONY 孝遊会(新田孝後援会)

特別支援企業: 株式会社 ベヒシュタイン・ジャパン

後援: 外務省 文部科学省 岡山県 岡山市 シンフォニク協会 (株) ジャパンスピリット
【申請中 申請予定】 (一社) フォーカス・ワン (一社) ジャパンエレガンススタイル協会
 (株) ライフサポート (株) ゲイツオンホールディングス
 (株) ムジカ・チェレステ (一社) K国際コンクール

特別協力: 株式会社 SP プランニング (新田 孝マネジメント)

協力: T&N企画 コンサート・ラド

お問合わせ: nipponsymphony3226@gmail.com

(購入・先行予約等) 090-6927-3447

〈ご推薦者代表〉

東京岡山関係者 小長 啓一 (岡山産業人材研修センター理事長 元通産省事務次官) 香山 充弘 (現東京岡山県人会会長 元総務省事務次官) 大橋 洋治 ANA HLDGS(株)相談役 宮原 耕治 元日本郵船(株)会長 逢沢 一郎 自民党選挙制度調査会会長 元外務省大臣

◆ ニッポンシンフォニー Nippon Symphony, Orchestra

東京芸術大学、桐朋学園大学、名門音楽大学出身の精鋭プレイヤーによって構成され、格調と熱気の演奏で知られている。私たちは、永遠に偉大なる曲として光芒を放つ作品の最高の形式に最高の内容を注ぐこと、そして技法の完成を超越した境地、すなわち音楽にそなわる生命の力を表現することを目標としながら、演奏者と聴衆が一体となって作り上げるといふ本来の意味のコンサートを実現し、生の雰囲気と充実感を味わっていただけるように努力しております。

◆ 新田 孝 Takashi Nitta, Conductor

岡山市出身。東京芸術大学音楽学部卒業。東京交響楽団(音楽監督:秋山和慶)、新日本フィルハーモニー交響楽団(音楽監督:小澤征爾)の首席ホルン奏者を務めながら、指揮法を山田一雄、小澤征爾、秋山和慶、小林研一郎などに学び、ベルリン芸術大学、ケルン音楽大学にて研鑽。在独中はカラヤン、ペーム、ザヴァリッシュなどに薫陶を受ける。主催するNIPPON SYMPHONY CONCERTシリーズ(東京芸術劇場、東京文化会館など)、総合プロデュース/中野雄とのWORLD PEACE CLASSIC CONCERT ~華麗なる協奏曲の祭典~シリーズ(東京芸術劇場、サントリーホールなど)は、今井 信子(ヴィオラ)、H・ミュラー(ヴィオラ/ウィーン響首席)、A・スコッチッチ(元ウィーンフィル首席)、深沢亮子(ピアノ)など世界的巨匠はじめ中堅、新進気鋭との高度な音楽表現と絶妙なアンサンブルにより絶賛され、2020年にはベートーヴェン生誕250周年記念・魂の協奏曲全集(8曲)を開催し大成功をおさめる。特に今年10月の現在名実ともに若手トップの天才高木凛々子とのチャイコフスキーヴァイオリン協奏曲は空前の名演となる。現在、NIPPON SYMPHONY主宰/音楽監督・常任指揮者、ペヒシュタイン・カンマオーケスター常任指揮者、(株)ペヒシュタイン・ジャパン音楽顧問、(株)SPプランニング芸術顧問、(株)ゲイツオンホールディングス芸術顧問、(株)ムジカ・チェルステ芸術顧問、など。尊敬するピアニスト: デュヌ・リパッティ、深沢亮子先生。>(座右の書)モンテニユ: 随想録、トマス・ア・ケンピス・キリストにならいて、ナンシー・ウッド: 今日という日は贈り物(解説/城山三郎)、亀井勝一郎: 大和古寺風物誌、愛の無常について、岡部伊都子: みほとけとの対話、三浦綾子: 塩狩峠、など。

◆ 中 恵 菜 Meguna Naka, Viola

1993年京都府出身。桐朋学園女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学を卒業。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリン マスター課程修了。カルテット・アマービレのヴィオラ奏者として、第65回ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門第3位に入賞、2019年ニューヨークで開催されたYCA国際オーディションにて優勝、その他多数優勝。第22回ホテルオークラ音楽賞受賞。これまでに、ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス、ヴィオラスペース、IMUSE Music Festival in Enghien, MMCJ、プロジェクトQ、霧島国際音楽祭、ミュージック・アカデミー inみやざき等で研鑽を積む。テレビ朝日『題名のない音楽会』、NHK-FM『リサイタル・パッション』、東京・春・音楽祭、ヴィオラスペース、宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、北九州国際音楽祭、その他多数出演。「第5回次代へ伝えたい名曲 今井信子ヴィオラ・リサイタル」にて、今井信子氏と共演。CHANEL Pygmalion Days

室内楽アーティスト、Music Dialogueアーティスト。上原ひろみザ・ピアノ・クインテットメンバー。

2021年4月より、新日本フィルハーモニー交響楽団のヴィオラ首席奏者に就任。

2023年11月にはオペラシティのB→Cに登場、初めてオール無伴奏作品プログラムに挑戦した。トッパンホールでもカルテット・アマービレとして2020年12月に初登場以来、23年3月にはイェルク・ヴィトマンの弦楽四重奏曲第3番《狩》を熱演、ヴィトマンとの共演でウェーバー / クラリネット五重奏曲も披露した。さらに24年2月にはソロでランチタイムコンサートに出演予定。

これまでにヴァイオリンを久保良治、ヴィオラを佐々木亮、ヴァルター・キスナーの各氏に師事。使用楽器は宗次コレクションより特別に貸与されたMontagnana。

◆ 秋川 風雅 Fuga Akikawa, Piano

2004年東京都生まれ

父はオペラ歌手、母はピアノ講師、祖父は声楽家という恵まれた音楽環境の中、ピアノを始める。

3歳より毎年、Hakuju Hallにてソロリサイタルを開催。

6歳 日本フィルハーモニー管弦楽団と共演。モーツァルト「ピアノとオーケストラのためのコンサートロンド」を演奏。

12歳 東京交響楽団と共演。ショパン「ピアノ協奏曲第1番」を演奏。

また同演奏会にて、ベートーヴェン「交響曲第7番」を指揮。

13歳 ニッポンシンフォニーと東京芸術劇場にて共演。ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第3番」を演奏。翌年チャイコフスキー「ピアノ協奏曲第1番」を演奏。

国際コンクール「チャンピオンズ・キーボード」(イタリア)ベートーヴェン部門第1位

ホロヴィッツ・コンクール(ハンガリー)フェリックス・ブルーメンフェルト記念賞[大会最高位賞]

ピアノを両親に学び、また小島さやか氏、黒岩航紀氏、そして数々の著名なピアニストの指導を受ける。

声楽を父に、指揮法を鈴木織衛氏に、作曲法を古川琴子氏に学ぶ。

現在慶應義塾大学1年在学中。

◆ 森岡 薫 Kaoru Morioka, Piano

昭和音楽大学卒業 特別賞受賞 卒業演奏及び読売新人演奏会出演

翌年 オーストリア国立モーツァルテウム芸術大学入学。6年研鑽後2005年修了。モーツァルテウムで現代音楽初演。

下八川奨学生。

帰国後国内外で演奏活動を開始、現在に至る。

2011年「ピアノファンタジー」~バッハ モーツァルト ベートーベン~「チャイコフスキーピアノコンチェルト第一番」発売

2016年「平均律・協奏曲第一番 バッハとともに」発売

2020年「ベートーヴェンピアノ協奏曲0番」発売

2021年新宮市民会館丹鶴ホール開館記念式典にてホール初演奏

その他 書籍、ラジオ、テレビ、新聞、雑誌などメディア出演

岡 悠紀子、米良紀子、今堀 恵、小池純江、K.ジュディチ、ペーターラング、P.フォイトヴァンガーに師事。

令和協奏曲とは

最近ではヴィオラブームである。ヴァイオリン奏者並みに若手有望ヴィオリストが多数輩出し続けている。だがリサイタルにかけられるようなソロ演目の不足からかソロリサイタルは大都市に限られる。また在京オーケストラが地方公演ツアーを組むような際、有望な若手ソリストを地方のファンに紹介しようと帯同させることがあるが、ピアノやヴァイオリン、たまにチェロくらいで、ヴィオラ奏者を連れていくことはまずない。もちろんわかりやすく親しみやすい協奏曲がヴィオラには存在しないためである。

音楽評論家浅岡弘和氏はそんな現状を憂い、親しみやすいわかりやすい和風のヴィオラ協奏曲を作曲、そして完成直後改元があり、周知のように今上陛下がヴィオラを愛奏なさることも考え合わせ、令和を奉祝するため令和協奏曲と名付けたのである。

15分ほどの和風のヴィオラ協奏曲だが第1楽章は2つの魅力的な旋律による接続曲形式、第2楽章は短い間奏曲、第3楽章はいわゆるジプシー風ロンドのように情熱が爆発。この3つの楽章が続けて演奏される。

☆youtube にシンセサイザー音源によるものが上がっております。「令和協奏曲 改訂版」で検索しお聴き下さい。